

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
[http://www.city.ikeda.
osaka.jp/](http://www.city.ikeda.osaka.jp/)

けだ

No.159

いけだ市議会だより

平成30年(2018年)5月1日



猪名川堤防にて

3月定例会	2
意見書	2
議会日誌	2
議決結果	3
各派代表質問	4
委員会レポート	11
やまばと	12

いけだ市議会だよりは再生紙を使用しています。

3月定例会

3月定例会は、3月1日に開会し、市長から提出された平成30年度各会計予算など議案50件、並びに人事案件2件は本会議及び委員会にて審議を行い、いずれも可決・同意しました。

また、市長の「平成30年度施政及び予算編成方針」と教育長の「平成30年度教育方針と主要施策」が発表され、それに対する各派代表質問を3月6日に行い、市民の声を市政に反映させるため、それぞれの立場から活発な議論を行いました。

そして、3月27日には、市長から提出された追加議案3件を審議し、いずれも原案どおり可決して3月定例会を閉会しました。

一般会計予算は398億円

平成30年度の予算総額は855億8764万円で前年度当初予算と比べて0.5%、4億4218万円の増となっています。そのうち、一般会計予算は397億9700万円で、前年度当初予算と比べて7.9%、28億9800万円の増となっています。

一般会計の重点施策として、子育て支援の分野では、保育所及び公私立幼稚園に通う3歳以上の児童の保護者に対するエンゼル補助金交付事業の拡充や放課後子ども

もの居場所づくり事業、認定こども園の整備事業など、9億6608万円計上しています。

教育の分野では「教育日本一」をめざし、小学校への英語専科教員の配置、幼児教育サポートチームの設置など1億6160万円計上しています。

福祉の分野では、高齢者が元気で生き生きと暮らせるまちをめざし、アクティブシニア応援基金の創設、(仮称)敬老の里プロジェクト推進事業、くすのき学園の移設など7億4216万円計上しています。

活力あるまちづくりとしては、「池田のまち みんなまとめて

「マパーク構想」の推進、市営石橋住宅の建てかえ、石橋会館再整備事業や猪名川花火大会なども含め10億4057万円計上しています。

一般会計予算の反対意見としては、福祉医療制度の負担増で医療を遠ざけるのではなく、市独自で支える施策を実施すべきであること、新学習指導要領に基づく外国語授業の1年前倒し実施や道徳の教科化は児童と教師に負担増をもたらす。教員の加配と少人数学級の実施こそすべき、などの意見が出されました。

一方、賛成意見としては、アクティブシニア応援基金の創設で高齢福祉の増進に努め、小中一貫した英語教育の充実、保育士確保対策、子育て世代包括支援センター設置など安心して子育てできる環境整備がなされている。また、災害時などに必要な情報伝達のため地域防災無線スピーカーや備蓄倉庫新設など大規模災害への備えが着実に推進されており、限られた予算の中で将来を見据えながら市民生活の安定に配慮された予算編成であるとの意見があり、賛成多数をもって原案通り可決しました。

意見書

3月定例会においては、次の意見書採択し、関係機関に送付しました。

○種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書

議 会 目 録

1月	1月29日	各派代表者会議
2月	2月14日	各派代表者会議
	2月23日	予算内示会
		各派代表者会議
		議会運営委員会
3月	3月1日	各派代表者会議
		議会運営委員会
		市議会定例会
		特別委員会
		市議会定例会
		各派代表者会議
		議会運営委員会
		市議会定例会
		市議会定例会
		厚生委員会
		文教病院委員会
		総務委員会
		各派代表者会議
		議会運営委員会
		市議会定例会
4月	4月5日	市議会たより編集特別委員会
		市議会たより編集特別委員会
		市議会たより編集特別委員会
		特別委員会

羽田達也元議員(元大阪維新の会池田)に実刑判決

自身が経営していた整骨院で療養費をだまし取ったとして、詐欺罪に問われた羽田達也元議員(元大阪維新の会池田)の判決公判が2月23日に大阪地裁で開かれ、懲役2年10カ月の実刑判決が言い渡されました。

羽田達也元議員は、平成28年10月に逮捕・起訴された後も議員を続けておりましたが、市議会による2回の辞職勧告決議や市民によるリコール署名活動等が行われた結果、昨年12月22日に議員辞職しました。

羽田達也元議員には、逮捕・起訴された後も勾留されていた一部期間を除き、議員報酬等が支払われており、平成27年4月の当選以降、議員辞職するまでに支払われた議員報酬等は合計約2400万円にもなります。

現職市議会議員の逮捕という本市議会始まって以来の不祥事に対し、本市議会といたしましては、改めて市民の皆様にお詫び申し上げるとともに、引き続き市民の皆様のご信頼回復に努めてまいります。

○市長提出議案及び議決の結果

議案名	議決の結果
池田市総合計画基本構想の一部見直しについて	原案可決(賛成多数)
公職選挙法及び公職選挙法施行令の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
職員の死亡事案に関する調査委員会条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市債権管理条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市自殺対策計画策定委員会条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市アクティブシニア応援基金条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立幼保連携型認定こども園条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市指定居宅介護支援事業者の指定並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市地域公共交通会議設置条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市事務分掌条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市手数料条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市立保育所条例の一部改正について	原案可決(賛成多数)
池田市留守家庭児童会条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市立くすのき学園条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決(賛成多数)
池田市介護保険条例の一部改正について	原案可決(賛成多数)
池田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市大阪国際空港北地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市都市公園条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市建築基準法施行条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市立駐車場条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市立幼稚園条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市私立幼稚園児の保護者補助金の交付に関する条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
共同利用施設条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市消防保安行政事務手数料条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
訴えの提起について	原案可決(全員異議なし)
池田市道路線の廃止について	原案可決(全員異議なし)
池田市道路線の認定について	原案可決(全員異議なし)
池田市教育委員会委員の任命について	同意(全員異議なし)
財産区管理委員の選任について	同意(全員異議なし)
平成29年度池田市病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決(全員異議なし)
平成29年度池田市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決(全員異議なし)
平成29年度池田市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決(全員異議なし)
平成29年度池田市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決(全員異議なし)
平成29年度池田市財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全員異議なし)
平成29年度池田市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決(全員異議なし)
平成29年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全員異議なし)
平成29年度池田市一般会計補正予算(第7号)	原案可決(全員異議なし)
平成30年度池田市病院事業会計予算	原案可決(全員異議なし)
平成30年度池田市水道事業会計予算	原案可決(全員異議なし)
平成30年度池田市公共下水道事業会計予算	原案可決(全員異議なし)
平成30年度池田市国民健康保険特別会計予算	原案可決(賛成多数)
平成30年度池田市財産区特別会計予算	原案可決(全員異議なし)
平成30年度池田市介護保険事業特別会計予算	原案可決(賛成多数)
平成30年度池田市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決(賛成多数)
平成30年度池田市一般会計予算	原案可決(賛成多数)
池田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決(賛成多数)
平成29年度池田市一般会計補正予算(第8号)	原案可決(全員異議なし)
平成30年度池田市一般会計補正予算(第1号)	原案可決(全員異議なし)
池田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
平成29年度池田市一般会計補正予算(第9号)	原案可決(全員異議なし)
平成30年度池田市一般会計補正予算(第2号)	原案可決(全員異議なし)

代表質問

自由クラブ議員団

西垣 智 倉田 晃



質問者 倉田 晃

中長期的な視点に立ち
夢や希望の持てるまちづくりを

問 細河地域活性化の今後の展望について

細河地域の活性化の今後の展望について見解を問う。

答 細河未来夢プラン等を
もとに取り組む

新名神高速道路開通に伴う交通便利性の向上を契機に、自然環境・景観や農業との調和を図りながら、産業施設等の立地誘導などの地域の活性化に向けて、第6次総合計画の一部見直し及び都市計画マスタープランの見直しを予定しているところ。今後、細河未来夢プラン2030を踏まえたテーマパーク構想をもとに、細河地域の魅力を発信し、行政だけでなく、地元住民や企業、団体などが一体となり、細河地域の活性化をめざしたまちづくりを進めていきたい。

問 石橋地域活性化の今後の展望について

石橋会館の建てかえ、駅周辺の道路や景観整備、石橋駅前会館の更新計画等の事業を進められているが、石橋地域の活性化について、中長期の構想を問う。

答 石橋未来夢プラン等を
もとに取り組む

石橋未来夢プラン2030を踏まえたテーマパーク構想をもとに、引き続き各事業を展開するとともに、現在策定に取り組んでいる立地適正化計画等の中にも、石橋地域の活性化に資する事業を盛り込み、中長期的な視野に立った取り組みを進めていきたい。

問 石橋地域における
観光振興について

石橋地域の観光客の利便性向上のため、Osaka Free Wi-Fiの導入を検討されるとのことだが、石橋地域の観光振興について見解を問う。

答 石橋地域の強みを生かし
取り組みを進める

Osaka Free Wi-Fiの導入については、石橋商店街を中心として整備することにより、利便性の向上を図り、さらなる誘客をめざすもの。今後、関係団体と連携し、大阪大学の周辺地域であることなどの石橋ならではの強みを生かせるような観光振興策について検討していきたい。

問 地域分権制度の
将来像について

各地域において、事務局体制の強化や拠点整備が可能となるよう提案限度額の充実を図るなど「地域分権制度」を本格的に推進する中で財政負担が増加する。財政にプラスとなる地域分権制度の将来像について見解を問う。

答 市の事業との
さらなる連携をめざす

協議会の体制を強化することで、市の事業とさらなる連携をした取り組みなどが可能となり、将来的には市の財政にプラスとなる事業提案にもつながっていくものと考えている。また、地域分権の深化により、地域力・コミュニティ力の強化が図られれば、少子高齢化が進展する中で、安全・安心や福祉・子育てなど各地域の実情に応じた住民主体のまちづくりを進めることができるものと考えている。





各派



【質問者】 多田 隆一

公明党議員団

多田 隆一 馬坂 哲平
荒木 眞澄

時代の流れを予測し、持続可能な発展と人権社会を構築

問 国連SDGsの理念を取り入れた環境学習を

答 世界での諸課題解決をめざした「持続可能な開発目標」SDGsの理念を環境学習に取り入れては。また、大阪府でもSDGs推進のための庁内本部が設置されること、本市でも全庁的な推進を。

問 持続可能な地方自治体をめざし検討していく

答 環境学習は、地域社会・学校・人をつなぐ役割を持っているので、同じ方向性のSDGsの達成にもつながると考える。今後関係部局と連携し、推進していく。

問 排他主義は人権侵害
本市教育で意識啓発を

答 世界各地で深刻な問題となっている排他主義。本市の道徳教育や人権教育で取り組むことで、「多元的で誰も排除されない社会」構築への意識啓発を。

問 現実に生起している
諸問題も取り上げる

答 本市では、公正や公平、社会正義、差別など、現代社会のさまざまな課題を取り上げ、指導している。今後、「排他主義」も含め、広い視野や考えを深められるような指導を、一層進めていく。

問 市民の幸福度向上に
つながる制度の展開を

答 アクティブシニア応援基金の創設は、人生100年時代の第4ステージで活躍できる仕組みづくりと考える。事業の評価方法として、全国に広がり始めている幸福度調査を、本市でも実施しては。

問 高齢者のニーズに合致した
制度確立をめざす

答 これまでに実施した各種アンケート結果を反映し、市民の生きがいづくりや社会活動参加へのニーズに合致した制度をめざす。幸福度調査に関しては、市民の満足度の数値化として検討する。

問 ビッグデータの活用で
戦略的な観光施策を

答 様々なデータを一元的に管理・収集し「誰が・何を求め・どのように行動したか」を解析し、課題抽出や解決に生かす観光プロモーション戦略が必要ではないか。

問 データ活用の重要性は認識
事業展開を進める

答 来訪者アンケートやWEB調査結果を踏まえた戦略プランに基づき「週末、気軽に訪れていただくまち」をめざす。指摘のビッグデータの活用も含め、事業を進める。

問 持続的な発展をめざし
効果的な事業展開を

答 人口減少時代の中、本市の魅力発信し将来的な経済力や活力をめざす「シティプロモーション」。しっかりしたプロジェクトチームを立ち上げ、ゴールを明確にした効果的な取り組みを。また、民間企業でよく用いられる「社会の流れを予測するタイミング戦略」や「独自性・有利性を生かした差別化戦略や集中戦略」を用いては。

問 本市の強みを発信
効果的な展開を検討

答 「チキンラーメン誕生60周年」NHK「まんぷく」の放映などに合わせたシティプロモーションを実施する。さらに本市の各種施策はブランド・強みになり得るので、効果的な発信を組織横断的に検討。



代表質問

市民クラブ議員団

渡邊 千芳
川西 二郎
中田 正紀

山田 正司
三宅 正起



質問者 三宅 正起

人口減少で財政規模が縮小、 行政サービスの内容を精査

問 観光まちづくりの戦略について

大阪池田ゲストインフォメーションの開設による観光地域づくりを実現するための戦略及び国内外への発信について問う。

答 観光施設の魅力を発信し回遊を促進

ホームページやSNSなどICTの活用やフリーペーパーなどへの掲載、各種イベントへの参加などを通し情報発信を図っている。

問 大阪国際空港の近距離国際線復活について

本年度より関西エアポート株式会社による関西国際空港と神戸空港をあわせた関西3空港の一体的な空港運営が始まる中、活性化のため、近距離国際線の復活についての進捗状況を問う。

答 周辺市や経済界からも要望大と実感

関西全体の経済が活性化されるよう、再開が予想される関西3空港懇談会での議論に向け、周辺市と意思統一して関係者に要望する。

問 65歳以上の就労体制づくりについて

アクティブシニアを応援することだが、65歳を超えても就労ができるように、市役所も含めた全市的な体制づくりについて問う。

答 生きがいの充実と社会参加の促進

超少子高齢社会を迎え、アクティブシニアが社会の支え手として活躍する必要性が高まっている。福祉的サポートから労働的サポートへの強化を図る。

問 「教育日本一」の将来像について

「教育日本一」をめざし教育施策を強力に推進され、新たに6千万円、平成27年度予算に比べ1億6千万円の予算を上積みされているが、具体的な将来像を問う。

答 教育日本一を標榜し質の高い教育をめざす

平成28年度より、主にソフト面の充実のために予算を投入し、グローバル化や情報化等、予測が困難な時代に対応した「生きる力」を育むための教育を他の自治体に先んじて行っている。

問 待機児童の現況について

保育士確保施策の実施、幼保連携型認定こども園の整備促進など、待機児童の解消と保育の質の確保に取り組まれるが、保育所待機児童の現況について問う。

答 待機児童ゼロを維持すべく適切な情報提供を

平成30年4月入所の申し込み件数については、昨年より約50件増加しているが、新たに民間の認定こども園1園の開園などにより105名の定員増を見込んでいることから待機児童ゼロを維持する。

問 英語教育、道徳教育の充実について

教育現場は課題山積だが、その中で英語教育、新設の道徳科をどう充実させるのか。

答 研修をさらに充実させ実践的研究を推進

教員の授業力向上を図るとともに、電子黒板を活用したデジタル教材の導入を進め、新学習指導要領の円滑な実施に向け支援する。

各派



【質問者】 浜地 慎一郎

自民同友会議員団

小林 義典
細井 馨

木下 克重
浜地慎一郎

超少子高齢化社会に対応する 包括的な支援を

問 ゲストインフォメーションの役割は

本市の歴史・文化・観光などの魅力を国内外に発信する「大阪池田ゲストインフォメーション」が2月17日に、阪急池田駅改札前に開設された。現在までの外国人を含めた利用状況や案内内容は。

答 まちの回遊を目的とする様々な仕掛けを行う

来場者数は、2月17日から28日までの間で、一日平均約180名。約6割の方が問い合わせを受け、その1割が外国人となっている。その方々に池田にある多くの魅力について案内している。テーマパークのエントランスとして、まちを回遊してもらえよう努める。

問 医療ロボット「ダ・ヴィンチ」について

ダ・ヴィンチは従来の腹腔鏡下手術の限界が明らかになり、ロボット支援によるテレプレゼンスが登場し、多くの医療機関が手術の限界を克服するために導入している。来年度以降さらに広がる動きがあるが、市立池田病院への導入予定と効果は。

答 財政状況を踏まえ導入について検討する

手術に際して患者の身体への負担を少なくできるほか、医師にとっても正確かつ安全に手術を行うことが可能になる。平成30年度の診療報酬改定で新たに胃がん手術など12件で保険適用となり、今後普及は進むと推測している。機器の導入や維持にかかる費用が高額なため財政状況を勘案し検討する。

問 子ども家庭総合支援拠点の設置について

市区町村が、身近な場所でももやその保護者に寄り添って継続的に支援し、児童虐待の発生を防止することが重要であることから、子ども家庭総合支援拠点を設置されるが、役割、人員体制は。また子育て世代包括支援センターや池田子ども家庭センターとの連携をどのように図っていくのか。



答 継続的なソーシャルワーク業務まで担う

昨年4月に施行された改正児童福祉法により、市区町村は実情の把握や継続的なソーシャルワーク業務までの機能を担う。児童虐待・家庭相談担当を2名配置し、業務体制の強化を図る。支援が必要な児童は子育て世代包括支援センターと、深刻な事案に対しては池田子ども家庭センターとそれぞれ連携し支援を行う。

問 総合スポーツセンターの改修について

総合スポーツセンター改修工事による五月山体育館の影響は。また改修においての財源は東京オリンピック関連経費を活用すると聞いているが国費の認定は。

答 多様な財源の活用を検討し改修事業を進める

総合スポーツセンターの改修工事によりおおむね1年間は利用が不可能となり、市民の利用や市主催事業については五月山体育館との調整が必要となる。また、活用するスポーツ施設をIF基準に適合させるために必要不可欠な改修経費が、地域活性化事業債及び普通交付税措置の対象となる。

代表質問

日本共産党議員団

藤原美知子
小林 吉三

白石 啓子



質問者 白石 啓子

いのち・くらし・教育
充実の市政実現を

問 市民の平和と安全を守るため憲法改悪反対を

安倍総理は年内にも9条改悪の発議を行うとしている。憲法9条に自衛隊を明記すれば海外への武力行使が無制限になってしまう。国民の多数が望んでいない戦争への道は池田市民の安全を守る上でも決して許されるものではない。国に意見を具申すべきではないか。

答 国会審議を注視したい

今後、国会等で十分な審議が行われるものと認識しており、注視していきたい。

問 福祉、医療、子育て支援最優先の市政実現を

平成30年度から国民健康保険制度の都道府県化が実施されるが、高すぎる保険料は是正されていない。一般会計からの繰り入れをふやし保険料の軽減を求めると同時に、子育て支援の観点から子どもの均等割減免を行ってはどうか。介護保険は現役並み所得者への3割負担導入や、介護医療病床にかわる介護医療院の創設など、地域包括ケアシステムを強化する法改正を行った。市の対応を問う。子どもの医療費助成は、全国的

にも、近隣自治体でも18歳までの拡充が広がっている。本市でも18歳への医療費助成の拡充を求める。

答 国に対しさらなる財政支援を要望していく

国保制度の構造的課題の解消には、国・府のさらなる財政支援が不可欠であり、引き続き要望していく。一般会計の法定外繰り入れは慎重に取り扱う必要がある。

介護保険制度は、高齢者の尊厳の保持と自立した生活を支援する目的のもと、地域の実情に応じた包括的な支援・サービスの提供ができるよう取り組みを進める。

子どもの医療費助成は18歳の例もあるが、拡充には年間約3千万円かかるため財政状況を見ながら考えていきたい。



問 教育課程の編成は学校現場での話し合い重視で

新学習指導要領により、特別の教科・道徳が平成30年度から小学校で、平成31年度からは中学校で教科となる。さらに外国語は一年前倒し実施となり、生徒や職員にとって大幅な負担増となる。そのため、小学校の夏休みが短縮されることになった。教育課程の編成権は各学校にあり、生徒や教職員の負担がふえないよう、教員の加配や、学校現場での話し合いを重視すべきではないか。

就学援助制度については、必要な時期に間に合うよう、入学準備金の支給時期を入学前に実施する自治体がふえている。本市も直ちに変更すべきではないか。

答 教育課程検討委員会で協議し円滑に実施する

教育課程の編成は、教育課程検討委員会で校長や教員の代表と協議し、新学習指導要領の円滑な実施をめざしている。今後も英語活動研究会や道徳教育推進委員会など、協議を重ねながら一人一人を大切にしながら教育を推進していく。就学援助の新人学用品費は平成31年度の新入生を対象に前倒し支給を予定している。



各派



【質問者】 富田 裕 樹

大阪維新の会池田議員団

富田 裕樹 石田 隆史

関西で最も住みたい街 新しい池田の街づくりをめざして

問 池田のまちづくりについて

国境を超えて大都市同士が直接結びつく世界的都市ネットワークが拡大し、国際的な都市間競争が激化している。大阪維新の会の政治運動は、ニューヨークやロンドン、上海など国際都市に負けぬ大阪を構築し、日本に活力を与えるために始まった。維新のめざす大都市自治は、大阪府・市の自治体経営の黒字転換や、二重行政の解消。この間、高等学校の無償化やインバウンドによる成長等、これまでになく大阪の成長と変化を促してきた。今後も万博誘致を成功させ、関西をそして日本を盛り上げようとしている。大都市大阪に近接する池田市は、今後の国際情勢と日本、そして大阪市の変化を的確に予測しつつ、方向づけを行っていかねばならない。池田市は、良好な住環境を有する住宅都市としてポテンシャルが非常に高い。大都市大阪から近く、空港や高速道路網も隣接しており利便性も非常に高い。また、自然豊かで住みやすく良好な教育・子育て環境をも有している。今後は、関西で最も住みたいと思われるようなまちづくりを実現させていくべき。そのためにも、良好なベッド

タウンとしてさらに磨きをかけ、人口増加を図ることで安定した税収を確保し、市の発展を促していくべき。ブランド戦略は「高級感と洗練さ」を柱に据え、町並みを綺麗に、そしておしゃれに整え、緑をさらに豊かにし、風靡な街路灯の設置や一部無電柱化させるなど、関西で最も住みたいと思われる洗練されたまちづくりを実現すべき。また、子育て・教育環境をさらに整え、同時に、まち全体をバリアフリー化し、市民満足度が高く、誰もが住みやすい、安心して楽しく暮らせるまちづくりを実現していくべき。

答 定住・移住の促進に努める

今後の人口減少、少子高齢化に対応するため、本市の各地域の特色を生かしつつ、子育て環境、教育環境についても他市との差別化を図りながら、定住・移住の促進に努めていく。



問 「教育日本」の認定基準について

何を達成することで日本一と認定できるのか。その認定基準をみずから設けていくべき。教育は学力向上のみならず、さまざまな分野において手厚く深い教育が必要。よって教育を数値に置きかえ成果の是非を問うことは困難。しかし自他ともに認められる教育日本一の達成には明確な目標が必要なのも事実。そのためにも子ども一人当たりの教育予算投資額（ソフト面において）日本一をめざすことも方針に盛り込むべき。また、第三者調査会を設け、多面的にその成果を審査していくべき。

答 「教育日本」の具体化を図る

教育日本一に向けては、さまざまな分野において手厚く質の高い教育を提供していくことが重要であると認識している。調査会の設置は必要であると考えている。



各派代表質問

民社クラブ議員団

前田 敏 内藤 勝



質問者 前田 敏

行財政改革と職員力を高め 賑わいと活力あるまちづくり

問 生産性の向上と働き方改革に向けた人事評価

政府は生産性向上を支援し、産業構造・就業構造を変化させる取り組みを推進し、公務労働も市民サービス向上につなげるために取り組みが要請されると考える。生産性向上、働き方改革と人事評価の対応等今後の取り組みは。

答 やりがいを持ち業務に取組む環境整備を行う

市民とともに地域の課題を解決し、未来をつくる職員育成のため多様な職場を経験し、やりがいを持って業務に取り組む環境を整備する。人事評価は本来業務を主眼とした目標設定と評価で職員のモチベーション向上に取り組む。また上司と部下のコミュニケーションを十分に図り人材育成を進める。

問 人口減少と今後の子ども子育て支援の取組は

教育日本一条例に基づくソフト拡充や子ども・子育て支援法に基づく計画が策定されているが、人口推計等から児童・生徒数の減少が予想される。保育需要への対応や教育施設の整備の考え方は。

答 魅力ある学校園づくりとニーズ調査を実施

将来的に人口が減少した場合は、学年単学級を避ける加配や施設再編整備に努める。また幼児教育から魅力ある学園づくりを進め、子育て世代の流入も期待。子ども・子育て支援事業計画では、教育・保育の見込みと確保、女性の就業率向上を踏まえ適切な整備に努めるためニーズ調査を予定しており、ニーズに即した支援に努める。

問 賑わいと活力に伝統行事への取組支援が必要

昨年のがんから火祭りは地域の取組みが変わり開催が危ぶまれた。今年も観光資源として支援し、にぎわいと活力に活用すべきでは。

答 関係団体と連携し可能な取組を推進

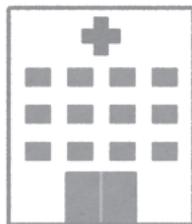
370年以上続く伝統の祭りは、猪名川花火と一対の夏の風物詩である。今年も実施されることを願い予算を計上した。保存会や守る会など火祭りを支えることができ、盛んな団体・個人と連携しながら、盛り上げるために市として取り組む。

問 在宅医療や療養支援の需要拡大への取組は

人口の自然減は40万人を突破し「少産多死」の人口減少社会を迎えた。平均寿命と健康寿命の差が広がり、高齢者の要介護期間も伸びている中、在宅高齢者の慢性疾患や24時間体制の訪問診療など、今後の需要拡大にどのように対応し充実させていくのか。

答 地域支援病院として市立池田病院の体制充実

府の地域医療構想の推計では、豊能区域における回復期及び慢性期の病床数は不足し、市内に慢性期病床を持つ病院はない。そのため、かかりつけ医の役割は一層増してくる。しかし、在宅医療を担うかかりつけ医の数は、十分と云えない現状で夜間や休診時のサポートが不足している。そのため、市立池田病院が地域医療支援病院としての従前からのサポート体制を強化し、今後とも緊急時を含めた支援体制を充実させていく。



委員会 レポート



3月定例会では、市長から提出された議案のうち40件の議案を、市議会に設置している4つの常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

3月27日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長提出された議案はいずれも原案とおりに可決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

来訪者に回遊してもらうには
新たな仕掛けが必要では

《一般会計予算》

問 本市の来訪者の多くは、目的の観光施設を訪問した後は、他の観光施設等へは立ち寄らずに帰られていると思われる。

答 本年2月に池田駅改札前に大阪池田ゲストインフォメーションがオープンしたが、今後、来訪者に本市の観光施設や飲食店へ足を運んでももらうためには、メディアに取り上げてもらうなど、新たな仕掛けづくりが必要だと考えるが、見解を問う。

さまざま意見聞きながら
仕掛けづくりを展開する

答 指摘のとおり、本市の来訪者の多くは、観光施設に一カ所だけ立ち寄って帰られているため、来訪者数の割に消費拡大につながっていないのが現状である。

そこで、今後は、池田版DMO構想に基づき、来訪者にゲストインフォメーションを利用していたり、観光施設や飲食店の情報を提供するとともに、商工会議所や店主等からさまざまな意見を聞

きながら、一カ所でも多く観光施設等へ足を運んでいただけのような仕掛けづくりを展開していきたいと考えている。

文教病院委員会

働きやすい環境の整備や
市立池田病院の今後の展望は

《病院事業会計予算》

問 エスカレーターの再稼働や中央待合ホールの改修などにより、市立池田病院が大きく変わっていくように思うが、職員が働きやすく市民が利用しやすい環境の整備及び今後の展望について問う。

働き方を細分化し採用
患者に選ばれる病院をめざす

答 職員が働きやすい環境をつくること、患者にとってもプラスになると考えており、昨年10月から働き方の細分化を図り、正規職員や非常勤の月額職員に加え、勤務時間が週20時間未満の時間給職員や週4日勤務の日額職員など、個々の職員に応じた働き方での採用を行っている。

今後の展望については、患者のニーズや病院のトレンドに合わせた診療科目の設定により、安定し

た財政状況をめざすとともに、患者に対する優しさを最優先にした看護の推進により、患者に選ばれる病院をめざしたい。

厚生委員会

アクティブシニア応援基金
高齢者福祉活動の継続を

《アクトイニシアティブ応援基金条例の制定について》

問 当該基金を、市が実施を希望する高齢者福祉の諸事業の原資として、活動団体への補助金交付に充てられることになれば、基金が無くなることも活動が終了することにならないか。

活動の充実と持続のため
参加者の掘り起こしも行う

答 今回の基金の創設は、従来から市内で高齢者福祉の諸活動を行っている法人及び団体に対して、活動をより充実かつ、持続させるため、当該団体が行う活動に補助金を交付する原資を創設するもので、単に補助金が交付される市の事業の募集を目的とするものではない。

また、基金の創設とあわせて、高齢者が増加傾向にあるにもかかわらず、友愛クラブ連合会の会員

土木消防委員会

大会参加者の 駐車料金を配慮を

《都市公園条例の一部改正について》

五月山体育館の一般的な利用者については、近隣駐車場とのバランスから駐車料金の値上げに妥当性があると考えますが、利用時間が長時間になる五月山体育館での競技大会等への参加者は、従来よりもさらに高額な駐車料金になるため、何らかの配慮ができないか、見解を問う。

体育連盟や担当者と 協議し検討する

現在、五月山体育館の定期的な利用者に対しては、一定の減免措置等を行っているが、競技大会等のイベント参加者に対しては適応していない。

そのため、平成30年7月1日の本条例の施行に向けて、大会役員に加え、チームに1台当たりの減免措置等を池田市体育連盟や駐車場の運用に当たっている担当者との協議の上、何らかの応援ができないか検討したい。

ふくまるキッズ園の 今後の展開は

《一般会計予算》

本年度も待機児童解消保育事業が計上されているが、本市の待機児童は解消されていると認識している現状を踏まえ、今後の展開について問う。

保育ニーズに応えるため 引き続き運営を継続する

本市の待機児童対策として平成28年に認可外保育施設として「ふくまるキッズ園」が開園したが、現状においても保育ニーズが高い中、非常に大切な役割を担っていると認識している。

今後は、希望者全員が認可施設での受け入れが可能となった段階で、役割を終えるものと考えているが、平成30年度においても全員を受け入れが困難な状況と見込んでおり、引き続き、運営を継続したい。

議会の予定

市議会の役員選出を主として審議するため、5月17日に臨時会を開催する予定です。

6月定例会は、右記の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

- 6月 4日(月) 本会議
- 6月11日(月) 委員会
- 6月12日(火) 委員会
- 6月13日(水) 委員会
- 6月15日(金) 委員会
- 6月25日(月) 本会議
- 6月26日(火) 本会議



やまびと

青葉若葉のさわやかな風の吹く季節になりました。

さて、今回の市議会だよりでは、平成30年度「施政及び予算編成方針」「教育方針と主要施策」を受けての各派代表質問を初め、各常任委員会での審議の主な内容を掲載させていただきました。

10月からは、本市を舞台としたNHK朝の連続テレビ小説「まんぷく」の放映が始まります。この機会をまちの活性化への起爆剤とし、活力あふれる池田の明日のまちづくりを推進いたします。

私たち編集委員は今回で最後の編集となります。この一年間のご愛読、誠にありがとうございました。よりよい紙面づくりに向けて次号からは新編集委員に引き継ぐこととなります。

引き続き「いけだ市議会だより」をご愛読いただきますよう、よろしくお願いたします。

市議会だより 編集特別委員会

委員長	三宅 正起
副委員長	藤原美知子
委員	荒木 眞澄
委員	倉田 晃
委員	石田 隆史
委員	前田 敏
委員	細井 馨